

令和7年度第1回大田区再犯防止推進会議 議事録

- 《日時》 令和7年10月30日（木曜日）午前10時から11時30分
《会場》 大田区役所本庁舎5階 特別会議室
《議事》 大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組み
(令和6年度実績報告)
第二次大田区再犯防止推進計画について
意見交換

《参加委員》

大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区更生保護女性会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	会長
大田区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
大田区立中学校PTA 連合協議会	会長
おおた社会福祉士会	会長
おおたTS ネット	代表
自立支援センターみんなの家	事務局長

庁内連携部署

総務部	総務課長 経理管財課長 防災危機管理課長 生活安全担当課長
地域未来創造部	青少年・生涯学習担当課長
福祉部	高齢福祉課長 障害福祉課長 自立支援促進担当課長 障がい者総合サポートセンター所長
健康政策部	生活衛生課長
こども未来部	子育て支援課長 子ども家庭支援センター所長
まちづくり推進部	住宅政策担当課長
教育総務部	副参事（教育地域力担当） 学務課長 指導課長 教育センター所長

進行：

1 委員長選出

委員の互選により、大田区保護司会会長を委員長として選出した。

2 議事要旨

大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組みについて、令和6年度実績を庁内連携部署の参加管理職から報告があった。

次に、第二次大田区再犯防止推進計画について、事務局から計画の概要や素案等の説明があった。

その後、参加委員と意見交換を行った。

《主な意見》

- ・ こどもの問題、就労世代のひきこもり、8050問題、不登校など、社会的に問題となっているが、そのような状況にある方を見つけるのが困難となっている。
- ・ 高齢化問題や障害福祉など、行政として重層化支援体制により連携をもっと深めてほしい。
- ・ 地域のネットワークを活用とあるが、地域ごと町会ごとに、それぞれ文化や特徴があり、皆が同じ意見ということはない。防犯、犯罪を予防するためには具体的に運用チームを作り、優先順位を決めて具体的に実践するべきだと思う。
- ・ いじめ問題や不登校の子どもが毎年増えていて大きな問題だと思う。また近年では高齢者の割合が増えており、有事の際の避難所への案内なども問題点が多い。情報があれば地域の中で声掛け等ができるが、現状は地域に全然情報が入ってこない。区民の生命を優先するべきだと思う。
- ・ 再犯防止推進計画で取り組んでいる施策により、困難を抱えた人たちが救済され、犯罪が減り再犯も減るということでユニバーサルに対策を行っていると思う。
- ・ 近年、インターネット等による子どもに対する犯罪が増えている。犯罪は日々新しいものが増えており、それに対する知識をアップデートしていく必要がある。そのため、子どもたちへの教育のみならず、その親に対する教育も必要だと思う。
- ・ 何かあったときにどこに相談して、どこに繋いでいくか、横の繋がりを大事にしていきたい。
- ・ 大田区の再犯防止推進計画は、人に対しての施策が展開されており、東京保護観察所においても高い評価をいただいている。今回の二次計画で

も新たな課題が設定され、未来を担う子どもたちが安心して地域で学び、非行に走らないように啓発活動を継続して展開していきたい。

事務局：大田区総務部総務課総務担当